

よなごびと

| 第28回 |

りっぷる音楽団
副団長

はせがわ あきこ
長谷川 明子 さん (左)

ふじはら りゅうじ
藤原 隆二 さん (右)



自分たちの音楽を

たくさんの人に聴いてほしい

地域活動支援センターおおぞらを拠点に活動する、りっぷる音楽団。藤原隆二さんと長谷川明子さんは作業所などに勤務するかたわら、音楽団の副団長として団員を率いて活躍しています。

音楽団には30人ほどが在籍し、年齢構成も18歳から76歳までと幅広いのが特徴です。練習以外でも会話が絶えないほど仲良し。公演では歌を歌ったり、ボンゴやジャンベといった打楽器を使って演奏したりします。「レパートリーは25曲ほどで、ZARDの『負けないで』や音楽団オリジナル曲など、会場の雰囲気によつて曲を変えます」と藤原さん。長谷川さんは「あちこちに行ってコンサートするのが楽しい」と公演する喜び

を実感します。

音楽団が結成されたのは約10年前。自分たちで何かにチャレンジしたいという思いと、音楽が好きなメンバーが多かったことから音楽団を結成することに。「当初は何をするにも億劫になりがちでした」とおおぞらの理事長の植村さんは振り返ります。しかし、「始めたからには障がい理由にせず、準備から片づけまで自分たちでやり遂げた」と藤原さんたちは決意。そして経験を積むなかで自信を付け、徐々に自ら進んで動くようになりました。今では「とにかく発表の場が欲しい。がいな祭りなど、多くの人の前で演奏するのが夢です」と二人は声を弾ませます。



公演では、青のユニフォーム姿でそろえます



毎月2回は集まって練習する